

令和2年5月29日

保護者各位

小牧市教育委員会

学校再開後の学習保障について

各小中学校で、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、教育活動が再開されました。通常の学校生活を送ることができるまでには、まだ時間がかかると思いますが、子どもたちがしっかり学習等に取り組めるように努めていきます。

臨時休校が長期化したことで学習の遅れが懸念されていますが、市内小中学校では、すべての学年において、学習内容を今年度中に修了させるため、次のような工夫をして授業時数を補います。

その際、教育活動全般のバランスを考えながら、児童生徒のストレスが増大しないようにも努めていきます。

1 新年度（4～5月）の授業の欠時数

<小学校> 合計 約150～175時間（各学年による）

<中学校> 合計 約175時間

2 学習保障のための工夫と新たに確保する授業時数（年間）

- 夏季休業中に授業日（半日授業・給食あり）を13日間設定する。その際、授業時間を短縮することで、午前中に5時間の授業を行い、合計約65時間を確保する。（但し、期間中の熱中症対応も考慮し、気象状況を見て変更する場合もあり）
- 2学期以降も、授業時間を短縮することで、新しく授業を1コマ設定し、1日あたりの授業時数を最大7時間に拡大し、合計約75時間を確保する。
- 授業時間を短くすることについては、現在、各校に整備されているICTを活用して効率化を図ったり、家庭学習と関連させたりしながら、質を落とさないように努めていく。
- 運動会・体育大会や文化祭等の学校行事の計画・内容・準備期間等を見直し、縮小することで、小学校：約20～30時間、中学校：約30時間の授業時間を確保する。
- 今年度、定期健康診断が未実施であること、また、新型コロナウイルス感染防止のため、小中学校での体育における水泳指導を中止する。小学校では、中止となった水泳指導の時間、10時間程度を体育以外の授業時間に充てる。
- 朝学習や授業後の時間を活用する（10分×4日間で1コマ等）ことで、15時間程度を確保する。この時間には問題練習や発展学習に取り組ませる。
- その他、各教科の学習内容を見直し、中心的な内容を重点的に扱うことで、5時間程度の授業時間を確保する。

※ 今後の感染状況によっては、冬季休業中に授業日を設定することも考えています。

※ 今後、国・県の要請や感染拡大により、取り組みを変更していくことがあります。

その際は、配信メールやHPでお知らせします。